

Photo Gallery

親子で学んで、遊んで、体験して 冬休みわくわくまつり



▲参加者で作ったドミノ倒しは大成功でした

12月16日、かなみ知恵の和館で「冬休みわくわくまつり」が行われました。

同イベントは就学前から小学生までの親子を対象に「学んで」「遊んで」「体験して」「楽しんで」を目的に実施しています。

午前はつみき遊び（ドミノ倒し、つみきの塔・トンネルづくり）、午後は絵本作家の宮西達也さんによるダンボールアート製作、読み聞かせなどが行われ、約110人が参加しました。

大人も夢中になり、子どもと一緒にさまざまな遊びで楽しくふれあいました。

サンタクロースの登場に大喜び 宅配サンタ

12月21日、町内各所で「宅配サンタ」が行われました。

同イベントは、函南町商工会青年部が町内の子どもたちに夢を届ける地域づくり事業として子育て交流センターと協力して昨年度から実施し、今回は事前に申し込みのあった16世帯を訪れました。

突然のサンタさんの登場に、緊張する子や興奮する子など反応はさまざまでしたが、どの子どももサンタさんをじっと見つめ、大喜びでプレゼントを受け取っていました。



▲サンタさんからプレゼントを受け取る子どもたち

寒さを吹き飛ばす 第43回函南町マラソン大会



▲力強い走りでスタートを切る選手

1月20日、柏谷公園周辺でNPO 函南町体育協会主催による第43回函南町マラソン大会が行われました。

同大会は、柏谷公園をスタート・ゴールに各部門1km～5kmのコースに設定され、小学生の部～45歳以上の部までの12部門合計432人（男260人、女172人）が参加しました。

当日は、寒さが際立つ天気でしたが、選手は熱い声援を受けながら力強い走りを見せてくれました。また1人も棄権することなく、全ての選手がゴールしました。

Photo Gallery

楽しみながら障害について理解を深める あいのわふれあいマルシェ



▲多くの来場者でにぎわいました

12月8日、函南町文化センターで「第1回函南町あいのわふれあいマルシェ」が行われました。

同マルシェでは、浜松キャラバン隊による講演、たなかみどりさんのミニコンサート、県立沼津特別支援学校伊豆田方分校の生徒やわかさ共同作業所の職員などによる発表がステージ上で行われました。

また会場内では、野菜やお菓子の販売、障害者スポーツ体験（ボッチャ）なども行われ、約250人の来場者は障害についての理解を深めながら、楽しみました。

「よいしょ！」の声にあわせて 園児の餅つき体験

12月11日、町内の3幼稚園（春光・みのり・二葉）で収穫祭（餅つき）が行われました。

収穫祭は、町内の若手農家で作る函南町中核農業者協議会が農業について理解を深めてもらうために毎年実施しているものです。はじめに同協議会の皆さんに餅つきのお手本を見せてもらい、その後園児たちが体験しました。

園児たちは「よいしょ」と大きな声を上げてお餅をつき、もち米がお餅に変わっていく様子に「つぶつぶのお米が大きなお餅になった」、「いっぱいついたからビヨーンてのびた」と、目を輝かせていました。



▲寒空の中元気いっぱい餅つきしました

こども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会 函中箏曲部が優秀賞



▲町長・教育長から激励を受けた箏曲部の部員

12月14日、東京都で開催された「こども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会」（11月24日開催）で函南中学校箏曲部が優秀賞を受賞したことを仁科町長に報告しました。

同部は6月のテープ審査、8月の地区大会で優秀賞を受賞し、審査の結果、同発表会の出場権を得ました。コンクールでは古典を現代風にアレンジした「春の海・21」を演奏しました。

杉山愛琉部長は「受賞は支えてくれた地域の皆さんの応援があったから」と話してくれました。